

会議状況等報告書		報告者	
会議の名称	第3回大府市緑化推進委員会		
日時	令和6年2月20日（火）9時00分～		
場所	二ツ池セルトナ		
出席者	樋口委員、水谷委員、服部委員、只井委員、櫻井委員、中村委員、深谷委員、島田委員		
	近藤部長、深谷課長、清水係長、増田主査、今村技師		
内 容			
<p>1.あいさつ 委員長)おはようございます。本日は最高気温20度という春の陽気です。(二ツ池公園の)河津桜も咲いて春がやってきました。事務局の事業は盛りだくさんですが、大府の自然の力や良さをどう広めていくか、どう市外にPRしていくかについて、今後の展開について特に意見交換したいと思います。</p> <p>2.報告事項 (1)第2回大府市緑化推進委員会の報告事項について【資料1】 事務局)---【資料に基づき説明】---</p> <p>質疑 なし</p> <p>3.議題 (1)令和6年度の事業計画案について【資料2】 事務局)---【資料に基づき説明】---</p> <p>質疑 委 員)横根平子1号公園の整備の完了はいつを目指しているか。 事務局)1号公園の整備は、令和8年度。2号公園は、令和6年度設計・令和7年度整備を予定している。 委 員)大府みどり公園の駐車場については、イベント時はいつもいっぱいなので、駐車場が増えることはありがたい。 事務局)今年度大府みどり公園の駐車場の舗装工事を実施し、台数を約20台増やしている。今後も駐車場整備を予定しており、最大400台くらいにする予定である。 委 員)北崎大池の方の駐車場は一般の利用者も利用できるのか。 事務局)利用できる。駐車場の案内を考えていく。 委 員)市の木市の花について、実際に植えられるか調査しているのか。小学校は植える用地がかなり少なくなっている。 事務局)学校の協力を得ながら、植えている。 委 員)事業を本当に実施しているかわからないので、ホームページなどで情報提供してほしい。 事務局)各学校のホームページでは植樹祭の様子を掲載している。また、令和6年度第1回緑化推進委員会では詳細を報告する予定である。 委 員)息子が大府南中でサクラを植樹したようだが、雨のせいか生徒会のみでさっと植えて終わってしまったようだ。また、なぜサクラなのか。市の木市の花であれば、クチナシがあったと思う。 事務局)たまたま雨でさっと終わってしまったかもしれないが、基本的には学校の緑化委員会などを中心に植樹している。サクラについては、(市制50周年で)最近追加し、サクラを中心に植樹を進めている。</p>			

委員長) 緑化推進の活動である植樹が学校の活動に移ると、緑化の意識が薄まってしまいう傾向にある。緑化の意図がうまく伝わるように工夫するとよい。

委員) 日進市の小中学校では、外部の講師を呼んで課外授業を行い、式で使う花を育てて花道にしたりしている。大府市はどうか。

委員) 大府市でも花を育てて花道を作ったりしている。

委員) できることから、できる人を見つけて活動し、広げていけるとよい。

委員) 緑化の活動は、草取りや水やりが大変。中心になる人など人材育成することや、活動を続けていく方法を考える必要がある。

委員) 今のこどもはクワやシャベルを知らない。草取りの仕方もしらないこどももいる。小さいときから緑化の教育が必要だと思う。学校で活動する時には補助金などは支給されるのか。

事務局) 学校の授業として行う場合は、学校の事業費から。緑化の活動であれば、市のお手伝いやあいち森と緑づくり事業の補助金が出る。

委員長) 学校教育に任せきりにするのではなく、水緑公園課がマネジメントし、地域がサポートするなど、一体となって緑化を進める必要がある。この委員会でも、委員会形式だけでなく、もう少しフランクに活動できる場を作るとよいのではないかと考えている。駐車場については、車利用だけでなく、公共交通の利用促進も行ってほしい。イベントを活用するなどし、ふれあいバスとの連携も視野に入れてほしい。

委員長) 本委員会としては、この事業計画案を承認する。

(2) 第4次大府市都市計画マスタープランの改訂について【資料3】

事務局) ---【資料に基づき説明】---

質疑

委員) ニツ池公園の整合区域のうち、東側の区域については、改訂後利用形態は変わるか。以前、市民の森で間伐等の活動をしていた時は、森の中で遊べる場所になるといいという話をしていたが、交通量のある道路を横断しなくてはならないので、話を進められなかった。

事務局) 今のところ、西側の三角地の整備を考えている。東側の区域については、確かに安全面の問題があるので、今後考えていきたい。

委員長) 本議題について、了解する。

(3) 大府北山土地地区画整理北山1号公園の整備計画について【資料4】

事務局) ---【資料に基づき説明】---

質疑

委員) 駐車場は車いす対応か。

事務局) 思いやり駐車場を2台整備する予定である。

委員) 駐輪場はあるか。

事務局) 10台程度整備する予定である。

委員) 駐車場は2台のみか。

事務局) 街区公園のため、基本的には地区の人が歩いて訪れる公園である。今回の公園はインクルーシブ公園の整備を計画しているため、最低限2台の思いやり駐車場を整備することとした。近くに公共施設もあるので、そちらも利用してほしい。

委員) じゃぶじゃぶ池があるとよい。

事務局) ワークショップでも同様の意見があった。整備費や管理の面で課題はあるが、ミストシャワーを設置できるか検討しているところである。

委員) ぜひミストシャワーを検討してほしい。

委員) 児童センターの駐車場を公園利用のために、どの程度利用していいか周知してほしい。周知してもらえると、こどもが公園を利用する際に送り迎えがしやすくなると思う。

委員長) ボールエリアはバスケットボールを想定しているのか。南側の道路が近いので対策は。

事務局) 特に限定はしない予定。南側の道路は高低差がある。池側には防球ネットを設置する予定である。

委員) たくさんの遊具を設置するようだが、保守管理はきちんとできるのか。地域の人を巻き込んで保守管理できるのがよい。

事務局) 遊具の点検は有資格者に委託することになる。地域の方には、不具合の通報の協力などをお願いしたい。

事務局) 横根平子地区の公園ワークショップでは、地域の人が管理するという話も出ていた。ゴミ拾いなど地域の協力が広がっていくとよいと思っている。

委員長) 新しいコミュニティーだけでなく、古くからのコミュニティーも含めて、共に管理できるように調整してけるとよい。

委員) 説明ではなかったが、ワークショップでは防災の話もあり、防災トイレなども整備する予定である。

委員) ゴミの清掃はだれが行うのか。

事務局) 地域の雇用のため、シルバー人材センターに委託する予定である。

委員長) この整備計画案を踏まえて整備してほしい。